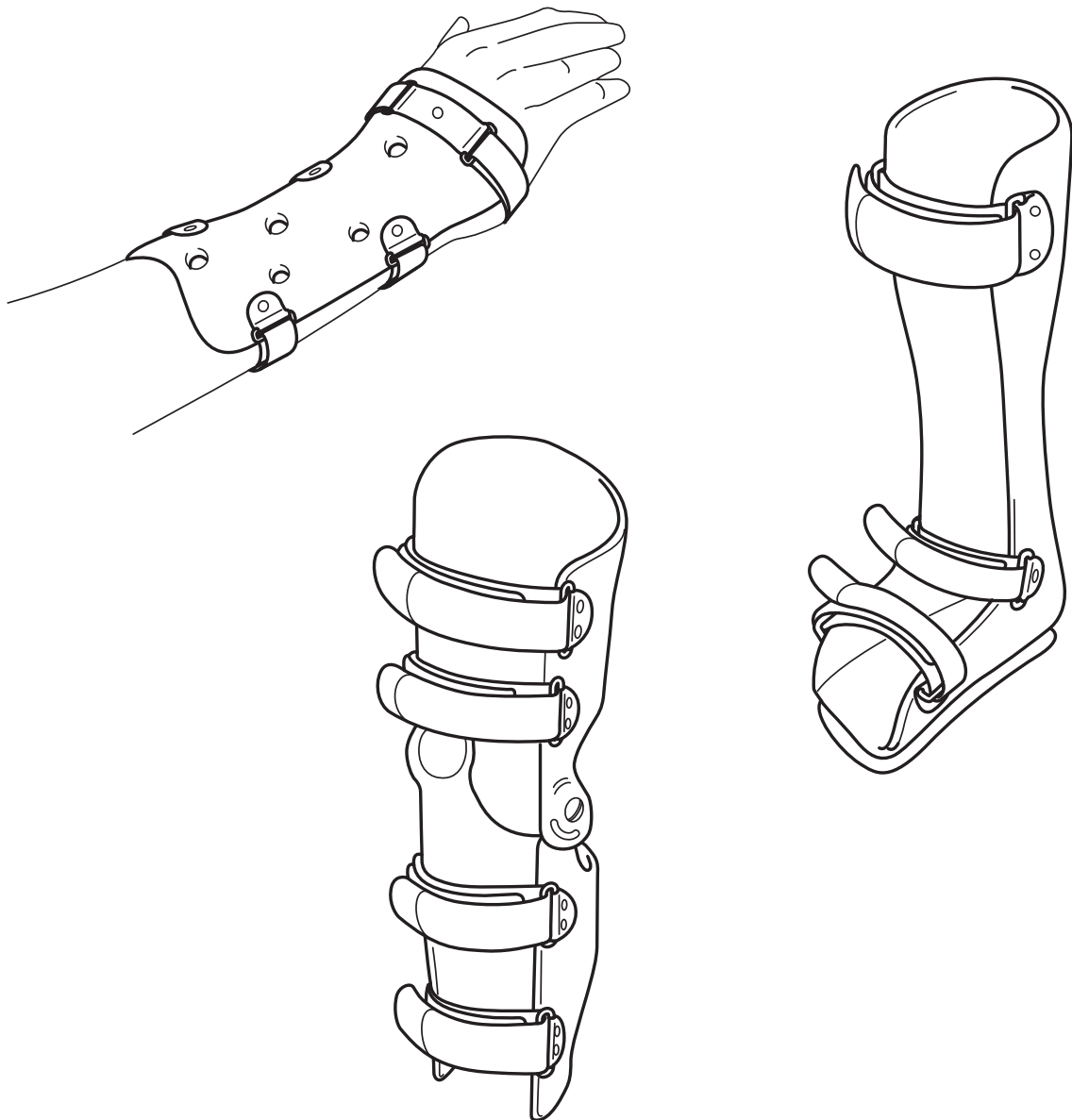


関節リウマチ体験用 模擬体験装具 取扱説明書

本装具管理者・装着者向け

この度は、弊社の製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただき、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになられた後は、保証書とともに大切に保管し、必要に応じくりかえしお読みください。



目次

1	安全にご使用いただくために	3
2	各部の名称	4
3	製品の特徴	4～5
4	装着方法	5
4-1	短下肢装具の装着	5
4-2	膝装具の装着	6
4-3	右手関節装具の装着	7
5	使用方法	8
5-1	ご使用前の注意点	8
5-2	立ってみましょう	8
5-3	歩いてみましょう	9
6	日常のお手入れの方法	10
7	材質	10
8	廃棄方法	10
9	保証とアフターサービス	10

1. 安全にご使用いただくために



警告

誤った使い方をしたときに、死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 手関節や膝・足関節において手術経験のある方や現在痛みやしびれがある方は病状が軽減するあるいは完治してから使用してください。
- 模擬体験は必ず2人1組で行い、動作に危険や不安を感じたら、無理をせず使用を中止してください。
- 本製品を無断で修理、改造、調整しないでください。
- 使用目的以外のご使用はしないでください。
- 本製品に破損・異常が発生していないか、ご使用前には必ず各部を点検してください。
万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社までご連絡ください。
- 本装具を日常的に装着しないでください。本装具は、疾病や事故等による障害の発生を室内（階段付近を除く）で模擬的に体験するためのものです。大きさや形状、その他の部分において装着者に適合していないことが考えられるため、日常的に長時間装着すると痛みやキズが発生する恐れがあります。
- 使用にあたっては、感染症等の予防のためスプレー式アルコール消毒剤の使用をお勧めいたします。
- 装着部に発赤やかぶれ、痛みが生じた場合、直ちに医師の指導を受けてください。
- 不適合が生じた場合や変形、磨耗、異音が生じた場合など、装具の異常は、身体を傷つけることがありますので、異常を発見した場合は、直ちに弊社までご連絡ください。
- 装具の機能操作は確実に行ってください。（特に継手部分の固定、解除の際には確実に操作してください。）
- 装着の際は、ベルト、紐等により適切な締め付けを行い、正しい位置を保持してください。
- 下肢装具の場合、底材が摩耗したときに、早めに修理をご依頼ください。



注意

誤った使い方をしたときに、使用中に不具合を生じ、障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 装着や使用の際、継手等の可動部分で体の一部や衣服等を挟んだりして傷つける場合がありますので取り扱いには注意してください。
- 本製品は常温で使用、保管してください。（特に夏季の自動車の中など、高温で直射日光の当たる場所や、暖房器具の前に放置しないでください。）

お願い

面ファスナーを

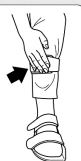
(マジックテープ・クイックロン等)

しっかり押さえてご使用ください。

○面ファスナーはしっかり押さえる事で接着されています。

△不十分な場合、接着力が得られず危険です。

○ご使用の際は、しっかり押さえて(圧力をかけて)下さい。



KAWAMURA

コルセット・補装具 装用時のカイロ（貼るカイロ等温熱剤）の取り扱いについての注意点



カイロ等温熱剤は、直接コルセット・補装具に貼らないようお願いいたします。



金属部分（筋金部分）やプラスチック部分と身体との密着度が高い場所には、特に貼らないようお願いいたします。

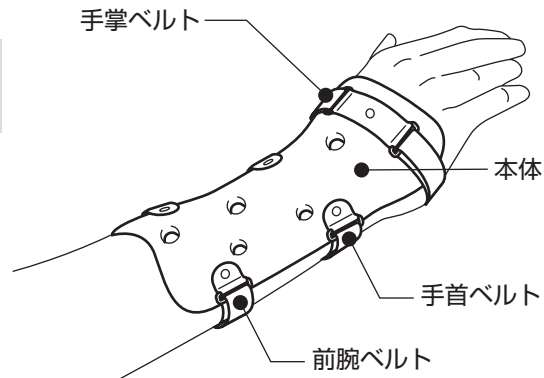


カイロ等どうしてもご使用される場合は、上記の事を守り、安全には十分注意をしてご使用ください。

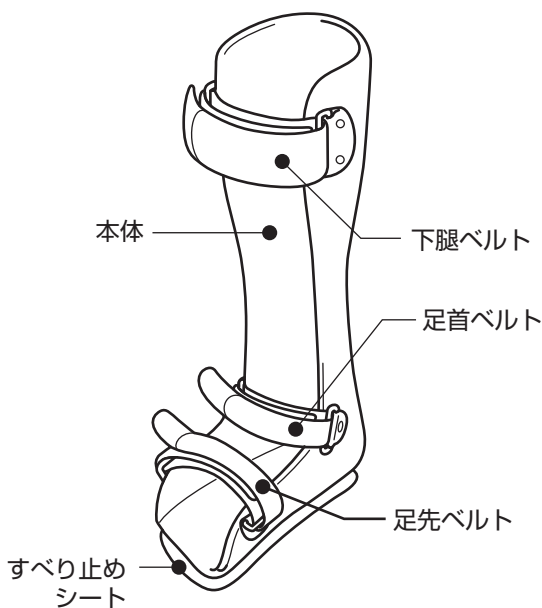
2. 各部の名称

本装具は次のような部品で構成されています。付属品に不足等はないか点検してください。

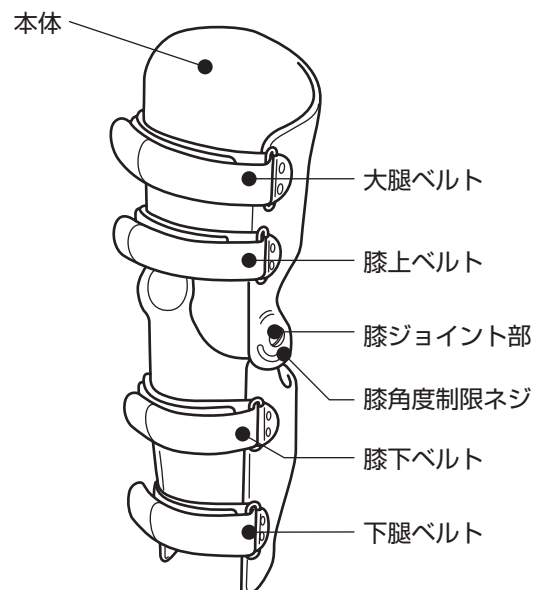
手関節装具 右片側
サイズ：S・M・L



短下肢装具 (左右一組)
サイズ：S・M・L



膝装具 (左右一組)
サイズ：S・M・L



3. 製品の特徴

「模擬体験装具」は、健常者が高齢者や障がい者の抱えるからだの不自由さを体験するために製作されたものです。誰もが避けてとれない老化現象、疾病や事故等による障がいの発生を模擬的に体験することにより、高齢者や障がい者が快適で豊かな生活を過ごせるよう、周りの方々の心配りのポイントを発見する装具です。又、本装具は、社会福祉機関、教育機関等の教育を目的として発案・販売されております。

(本装具は大阪労災病院・積水化学工業(株)で共同開発されたものです。)

関節リウマチによる、関節の可動域が制限された状態が体験できます。

●右手関節固定装具

手関節の可動性を失った状況を再現しています。前腕の回内運動も制限しています。

●両膝装具

膝関節の人工関節置換手術を受けた状況を再現しています。膝関節は90°以上の屈曲が制限されます。

●両短下肢装具

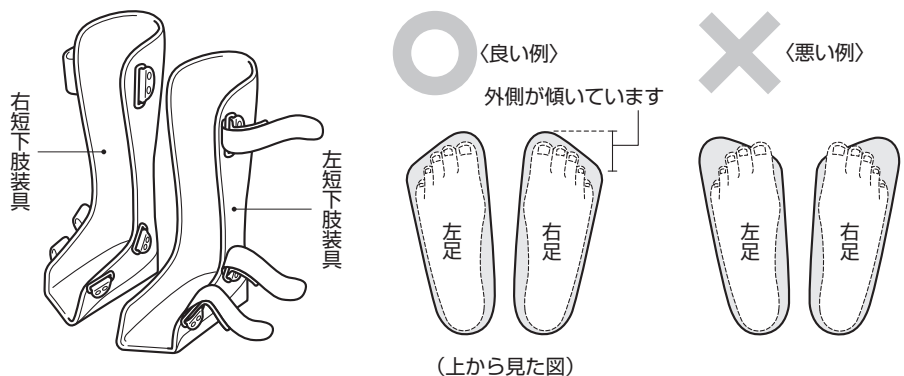
足関節が強直して動きが悪くなった状況です。足関節は90°で固定されています。

	右手関節装具	両膝装具	両短下肢装具
Sサイズ	前腕部最大周径 18~21cm	膝上15cmの周径 35~40cm	足長23cm
Mサイズ	前腕部最大周径 21~24cm	膝上15cmの周径 38~43cm	足長25cm
Lサイズ	前腕部最大周径 24~27cm	膝上15cmの周径 42~47cm	足長27cm

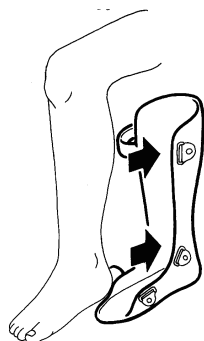
4. 装着方法

4-1 短下肢装具の装着

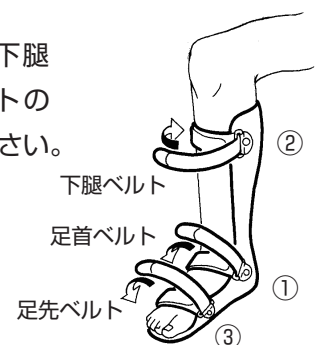
- ①短下肢装具を用意します。
装具には左右がありますので、間違いのないよう、確認してください。



- ②椅子等に腰を掛けた状態で踵をしっかりと装具の奥深くはめ込み、足首ベルトで固定してください。

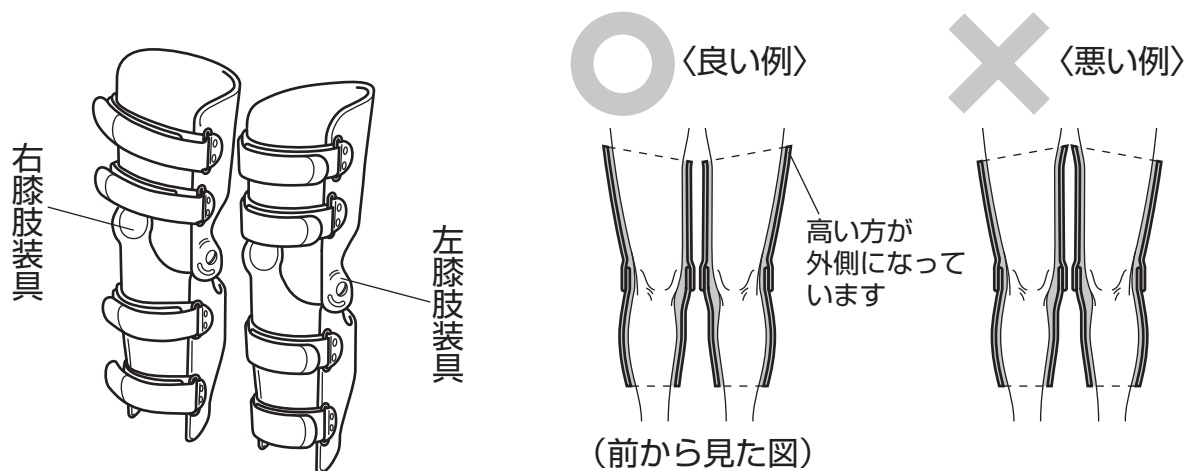


- ③次に、足首ベルト、下腿ベルト、足先ベルトの順番に固定してください。

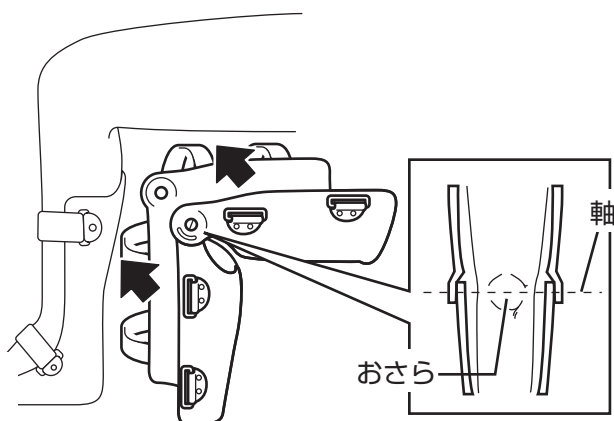


4-2 膝装具の装着

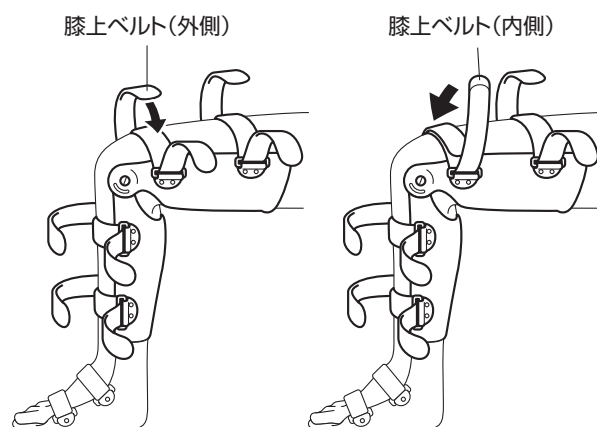
①膝装具を用意します。装具には左右がありますので、まちがいのないよう、確認してください。



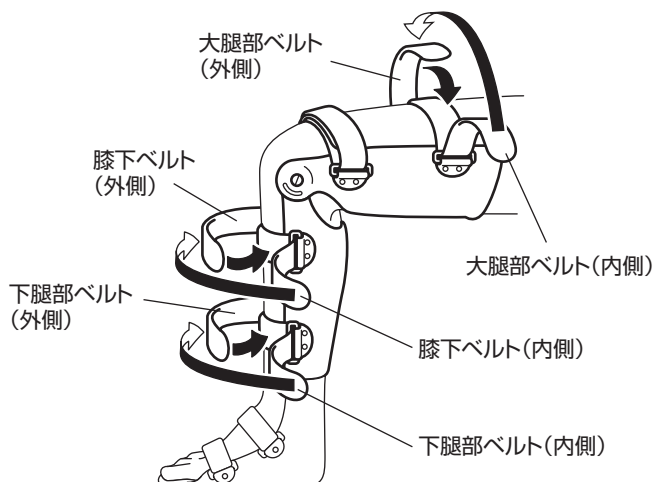
②膝の関節軸(お皿の中心)と装具の軸が同じ高さになるように、膝の後ろから装具をはめ込みます。



③膝上ベルトの外側のベルトを折り返し固定します。次に膝上ベルトの内側のベルトを折り返し固定します。

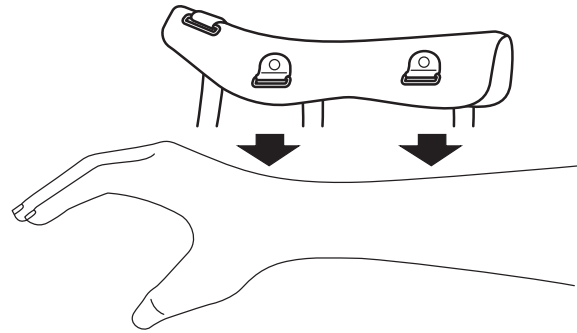


④膝下ベルト→大腿部ベルト→下腿部ベルトの順で③のように外側ベルトを折り返してから内側のベルトで固定します。

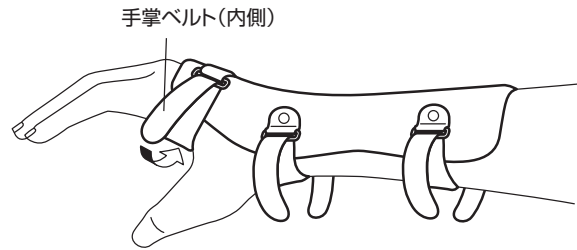


4-3 右手関節装具の装着

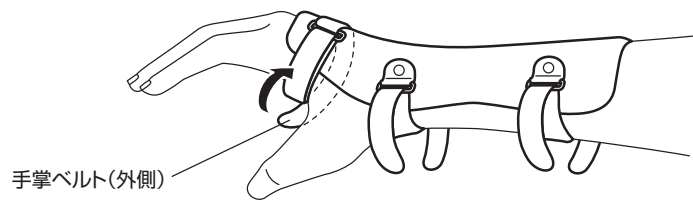
①右手の甲側に装具をはめ込みます。



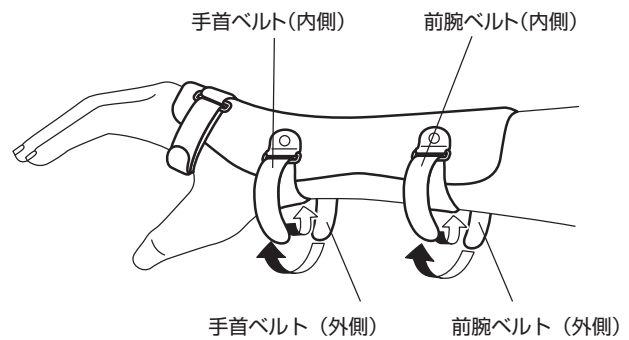
②手掌ベルトの内側のベルトを
折り返し固定します。



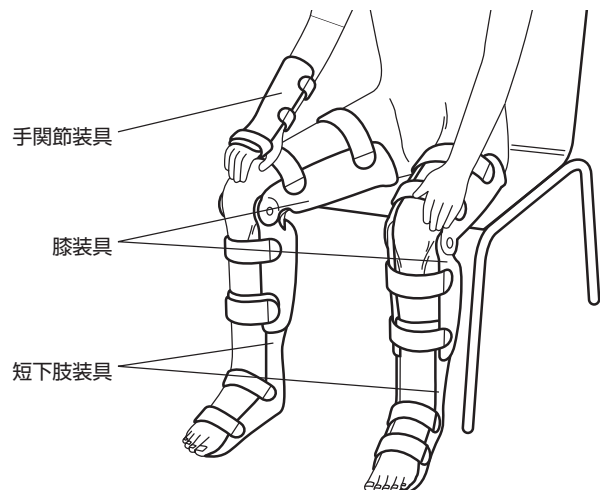
③次に手掌ベルトの外側のベルトを
折り返し固定します。



④手首ベルト→前腕ベルト→の順で
②③のように内側ベルトを折り返し
してから外側のベルトで固定します。



⑤これで装着は終了です。



5. 使用方法

5-1 ご使用前の注意点

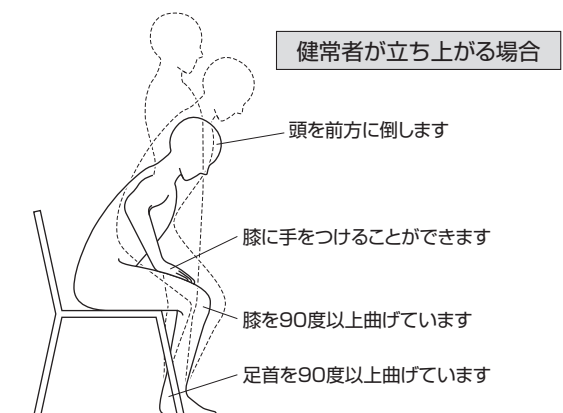


警告

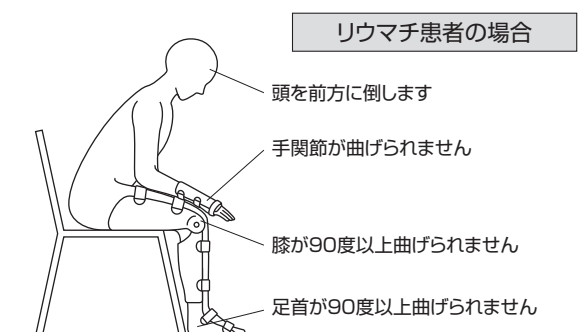
- 手関節や膝・足関節において手術経験のある方や現在痛みやしびれがある方は病状が軽減する、あるいは完治してから使用してください。
 - 装具装着中は身体の動きが制限されます。動作に危険や不安を感じたら、無理をせず使用を中止してください。
 - 本装具の使用は必ず2人1組で行ない、使用者と付き添い人で役割分担し転倒等の事故防止に努めてください。
- 家具等使用中に転倒した場合に危険と考えられるものが周囲にないことを確認してからご使用ください。
- 階段やその付近で使用しないでください。転倒により、死亡または重傷を負う恐れがあります。

5-2 立ってみましょう

装具を着けた状態では、一人で立つことが難しくなります。一般に健常者がいすから立ち上がろうとする時は図のように足首を膝より後ろに引き込みつつ頭を前方に倒して身体の重心を前に移動し、お尻を持ち上げやすくしています。膝に手をつく時もあるでしょう。(この時の足は、膝、足首とも90度以上曲げています。)

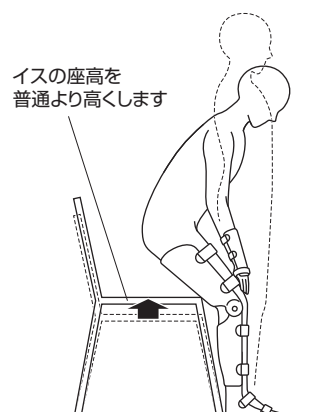


しかし関節リウマチの症状は、関節が破壊されたり関節可動域が狭くなったり変形したりするため膝や足首を90度以上曲げることができず、この重心移動が思うようにできません。膝に手をついたとしても、手関節にも関節リウマチの症状があるので満足に力が入りません。このような立ち上がりにくさが関節リウマチ患者の特徴の一つです。一人で立つことができたとしても頭をかなり前方に倒して重心を移動させて立ち上がったのではないのでしょうか。



それでは立ち上がりやすくするにはどうすればいいでしょうか。いすを高くするのが簡単な方法です。いすを高くすると重心(お尻)の位置も高くなり低いいすよりも少しの力で立ち上がることができます。

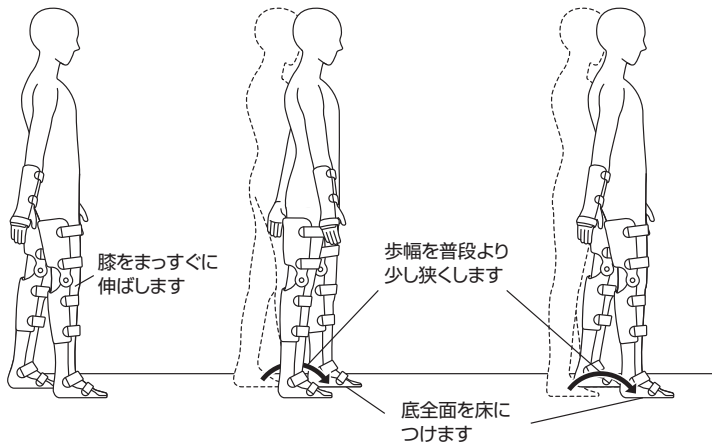
このようなことから関節リウマチの患者さんと一緒にいる時は、少しでも高い方のいすに座っていただくよう心がけましょう。杖や手すり、付き添い人の介助等も当然必要です。立ち上がりやすいいすの高さは人それぞれ異なりますが、関節リウマチに限らず膝関節の可動域に制限がある人は、いすの高さに注意された方がよいでしょう。



5-3 歩いてみましょう

歩き始めると、「両足首を曲げること」、「右手で杖や手すりを持つたりすること」ができなくなります。また、足首、膝が固定されているので普段通りの歩幅で歩くことができず、どうしても歩幅の小さい歩き方になってしまいます。このような状態が関節リウマチ患者の歩行姿勢の特徴の一つです。

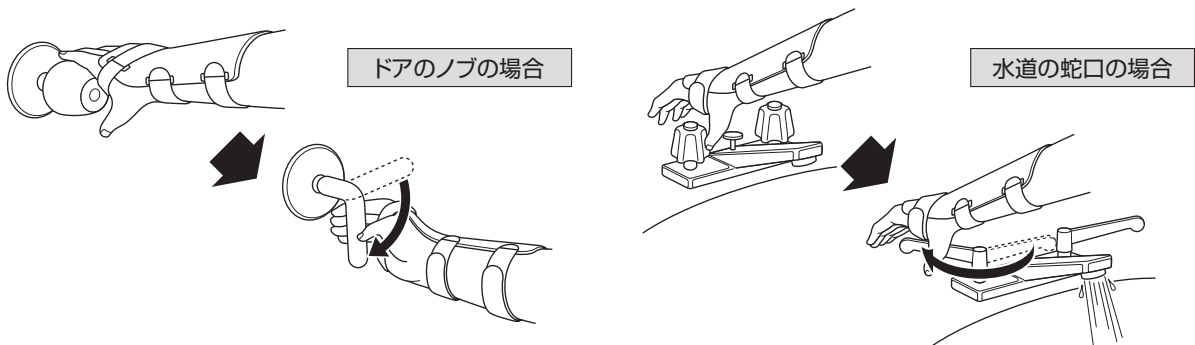
身体の力を抜きリラックスした状態で、付き添い人の介助の下、左手で杖をついたり、手すりを持つことで、歩きやすくなります。装具の底全体を床につけてゆっくりと歩いてください。



注意

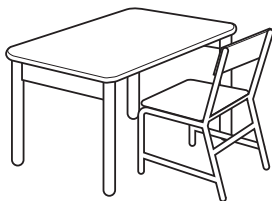
歩行の際は短下肢装具の底(すべり止めシート)全面を床につけるようにしてください。立ちにくい為、無理な姿勢をとると転倒したり、装具の縁が足にあたって”装具ずれ”をおこしたりする恐れがあります。

ドアのノブや水道の蛇口をひねってみてください。手関節が固定されているのでかなりひねりにくく感じます。このノブや蛇口をレバータイプに変えるだけで、とても使いやすくなります。

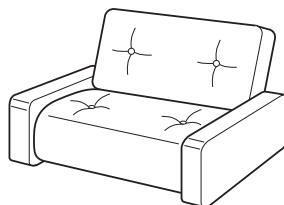


こんな場所で関節リウマチ患者の歩行を体験してみましょう。

食卓の机と椅子



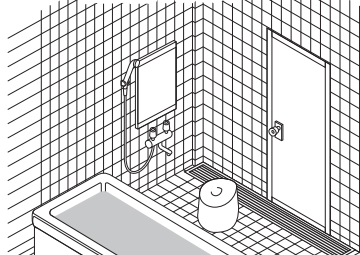
ソファ



洋式便器



風呂場でのシャワー・イスとシャワー(水道の蛇口)やドアのノブ



警告

階段やその付近で使用しないでください。転倒により死亡または重傷を負う恐れがあります。

6. 日常のお手入れ方法

汗をかいたり、装具が濡れたときは、風通しの良いところで陰干しをしてよく乾かしてください。面ファスナーの粘着力が低下している場合は、安全のため交換が必要となりますので弊社までご連絡ください。なお、毛玉等が付着した場合は、つまようじなどを面ファスナーの表面に滑らせて取り除いてください。

お肌に触れるクッション部分（布や革）の汚れがひどい場合は、ぬるま湯で湿らせた布などを押し当ててふき取ってください。

金属やプラスチック部分の汚れがひどい場合は、ぬるま湯で湿らせた布などでふき取ってください。

直接ぬるま湯などに装具をつけないでください。（金属部分にさびが生じる恐れがあります）

7. 材質

部品名	材質
プラスチック部	高密度ポリエチレン (サブオルソレン)
ベルト	牛革
面ファスナー	ナイロン

部品名	材質
すべり止めシート	塩ビ
内張り	サンペルカ
カン	鉄+クロムメッキ
ベルトパッド	ネオプレーンゴム

8. 廃棄方法

各自治体の指示に従い、廃棄処分してください。

9. 保証とアフターサービス

保証期間中は
保証書の記載内容に基づき修理させていただきます。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

 **川村義肢株式会社**

大東本社 TEL.072-875-8020 FAX.072-875-8041 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1

東京本社 TEL.03-5635-1611 FAX.03-5635-1612 〒136-0073 東京都江東区北砂1-19-9

本書の著作権は川村義肢株式会社に帰属しており、許可なく本書の全てまたは一部を複製することはお断りいたします。

2018.04.20